

アスパラークで収穫作業がラクラク！



【アスパラークで収穫する通男さん】

「おかげさまで収穫作業が楽になりました。」そう笑顔で語るのは、安芸高田市でアスパラガスを栽培している国貞農園の国貞通男さんと妻の千鶴子さん。

県立総合技術研究所農業技術センターは、アスパラガスの収穫作業を軽労化するため、立ったまま楽に収穫できる収穫バサミ「アスパラーク」を開発し、利用促進やさらなる改良に向けて、今年5月から安芸高田市内4戸の農家で、モニター調査を実施しました。

国貞農園では、アスパラガス7aを栽培し、これまで収穫がピークを迎える7～8月は、夫婦2人がつらい中腰姿勢で1時間以上収穫作業をしていました。「アスパラーク」の登場で、立ったままの楽な姿勢でアスパラガスを切って畦に置き、その後回収することで、これまでの中腰姿勢での収穫作業が少なくなりました。

通男さんは、「使い方に慣れるまで少し時間がかかったが、今では立茎後も、ほとんどこのハサミで収穫できるようになりました。」と手ごたえを感じています。

農業技術センター(坂本副主任研究員)は、「収穫の時の労働軽減の効果を実感していただき、多くの方に利用していただきたい。」と、産地での活用促進に向けて支援に取り組んでいます。



【国貞千鶴子さんと通男さん】